

2級 (R)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
い	か	の	き	ど	わ		ね	し	お	き	ち	か	ご	き	か	に	し	は	ご	ふ	し	ち	や	し	ほ	そ	し	も	く
ぶ	も	の	わ	ろ	ず	す	た	り	お	ょう	ょう	い	う	ん	っ	そ	ょう	ん	ん	ほ	ゅ	よく	っ	さ	う	じ	ゃ	う	ち
き		し		な	ら			ご		え	ぼう	う		て	す	う	れ	げ	う	う	が	か	く	し	よ	う	へ	ら	く

1×30 (30)

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	イ	ア	ウ	エ	ア	エ	ウ	イ	オ

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
卅	冂	目	火	龜	耒	无	儿	卩	日

(二) 部首 (10) 1×10

設問(三)と(四)問2はマークシート方式です。

15	14	13	12	11	問2
エ	ケ	ウ	キ	イ	意味

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1
普	簡	歌	堅	断	流	肅	卓	壮	兼	書き取り
遍	単	舞	忍	崖	転	正	説	大	行	

(四) 四字熟語 (30) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
巢	酢	艦	鑑	紳	真	延	炎	逮	退
		艇	定	士	摯	焼	症	捕	歩

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
懲	寡	平	伯	完	崇	拙	秘	喪	挫
戒	黙	癒	仲	壁	拝	速	匿	失	折

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
虚	鉄	傘	籠	疾
空	扉	下	絡	病

(九) 書き取り (50) 2×25

(下へつづく)

5	4	3	2	1
欺	怠	醜	償	矯
い	け	い	う	める

(八) 漢字と送りがな (10) 2×5

5	4	3	2	1	
奮	衝	裁	遣	映	誤
噴	涉	采	献	影	正

(七) 誤字訂正 (10) 2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
催	偽	矛	一	脅	鼻	涼	蹴	綻	踈	舌	襟	遺	倫	妊	異	解	祝	翻	腰
促			肌		面		飛			鼓	元	憾	理	婦	彩		儀	弄	痛

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
あまがさ	こ	あわ	むねあ	すず	のぞ	てぜま	しの	うるしぬ	はさき	ふんげき	かそ	ざいばつ	じゅんかんき	もうら	かんかつ	かんてい	はんぼう	ゆうごう	いつだつ	ひへい	そうすい	さつきん	ていげん	しょうしつ	てつてい	かいゆ	こうはい	はんぷ	じみ

(一) 読み (30) 1×30

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ウ	ア	イ	ウ	エ	ウ	オ	ア	エ

(三) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
山	シ	甘	戸	之	至	ハ	小	十	瓦

(二) 部首 (10) 1×10

15	14	13	12	11	問2 意味	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	問1 書き取り
キ	ウ	ア	オ	ケ		兼	謹	仲	夢	躍	鬼	沈	罰	鯨	端	

(四) 四字熟語 (30) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
伏	踏	墮	惰	含	頑	裕	誘	挑	徴

(六) 同音・同訓異字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
運搬	披露	倫理	丹念	貧困	親密	侵害	放任	左遷	購入

(五) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
添削	洗濯	独占	論破	奨学金

(九) 書き取り (50) 2×25

(下へつづく)

5	4	3	2	1
迎える	詳しく	促さ	預ける	陥っ

(八) 漢字と送りがな (10) 2×5

5	4	3	2	1	
列	創	恐	急	件	誤
烈	装	脅	救	懸	正

(七) 誤字訂正 (10) 2×5

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6
渦潮	薄	曆	研	緩	飽	洪	蛇	釣	呉服	制覇	動揺	甲殻	老婆	累計	帽子	抹消	待遇	突進	銃刀

3級 (R)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ふぶき	ふく	ゆ	ほのお	へだ	あさせ	おさ	つど	かたま	きそ	ちようえつ	しゆしよ	すいび	きよえい	ばっすい	きつえん	げんえい	ちじよく	かいだく	ぎようけつ	そうこく	かさく	ちんたい	しんすい	くつぶく	こうぼ	せきべつ	こどく	けんめい	ゆうわく

(一) 読み (30) 1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	オ	エ	エ	オ	イ	ア	ウ	オ	オ	イ	ウ	エ	ウ	ア
研	撮	富	概	慨	街	遵	巡	潤	浪	朗	漏	憂	雄	幽

(二) 同音・同訓異字 (30) 2×15

5	4	3	2	1
エ	ク	オ	ウ	キ
哀	虐	慕	扱	讓

(三) 漢字識別 (10) 2×5

設問(二)~(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
オ	イ	ウ	イ	ア	エ	イ	ア	エ	ウ

(四) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	エ	ウ	イ	イ	ウ	ア	イ	ア	エ
宍	骨	夕	牛	舛	之	厂	羽	行	サ

(五) 部首 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
足	適	斥	久	囟	雜	護	副	異	滅

(六) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
改	隠	湿	巖	緩
め	れる	っ	かな	める

(七) 漢字と送りかな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
落	躍	万	潔	低	免	大	勇	急	一
着	如	化	白	迷	許	器	猛	転	石

(八) 四字熟語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
門	仕	系	試	典
問	支	繼	施	展
				誤
				正

(九) 誤字訂正 (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
田舎	窓辺	枯	鯨	贈	削	既	髪	塗装	縦断	細胞	赴任	双方	企業	円滑	紛失	後悔	定刻	輪郭	凶

(十) 書き取り (40) 2×20

4級 (R)

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
う	さ	お	お	あ	ほ	き	か	だ	あ	し	こ	つ	は	し	い	が	く	び	て	き	ひ	お	き	し	お	こ	ま	た	し
な	か	か	そ	と	こ	り	ぎ	ま	わ	ょう	う	い	ん	ゅ	ん	ん	し	ん	ん	ょう	つ	め	い	し	ん	り	ん	ん	て
ば			ぎ	か						さん	も	お	そ	に	そ	べ	わ	ん	か	ふ	ひん	い	び	け	い	よう	し	ん	き

(一) 読み (30) 1×30

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	エ	イ	ア	ウ	オ	イ	オ	エ	エ	ウ	ア	イ	ア	エ
押	推	負	縁	煙	浴	違	依	為	底	堤	抵	坊	傍	忙

(二) 同音・同訓異字 (30) 2×15

5	4	3	2	1
オ	イ	カ	コ	ケ
襲	猛	執	陰	贈

(三) 漢字識別 (10) 2×5

設問(二)～(五)はマークシート方式です。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	ア	イ	ア	オ	エ	ウ	エ	ア	イ

(四) 熟語の構成 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	イ	エ	エ	ウ	ア	ウ	ア	イ	ウ
イ	貝	文	口	彡	心	行	舟	彡	イ

(五) 部首 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
占	難	熟	戒	巨	被	縮	暖	臨	鎖

(六) 対義語・類義語 (20) 2×10

5	4	3	2	1
築	眠	恥	交	試
こ	た	じる	わ	み
こ	か	る	ら	

(七) 漢字と送りかな (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
闘	両	死	句	多	味	夢	古	覚	致

(八) 四字熟語 (20) 2×10

5	4	3	2	1	
触	郡	美	希	報	誤
植	群	備	期	訪	正

(九) 誤字訂正 (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
芝	枯	張	裏	額	荒	届	照	民	妙	露	圧	圈	由	舞	噴	凡	記	退	頭
生			切					衆		骨	迫		来	台	出	人	載	却	脳

(十) 書き取り (40) 2×20

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
わ	かんけつ	きりつ	おんせん	きんし	さが	なら	ようしょう	まいすう	うやま	しよくじゆ	ふんき	うちわけ	えまきもの	うたが	すがた	いよく	じゆく	たんじよう	ふ

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
5	3	11	10	11	6	16	5	12	9

(三) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	お	エ	く	カ	こ	キ	あ	ケ	か

(二) 部首と部首名記号 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ウ	イ	エ	ウ	ア	ア	イ	ウ	エ	ア

(五) 音と訓(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
認める	退く	供える	映る	若い

(四) 漢字と送りかな(ひらがな) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
俳	展	郷	宣	論	純	密	模	縮	閉

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
宇	欠	臨	吸	射	刻	革	補	難	操

(六) 四字の熟語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
巖	源	暖	段	覚	閣	除	助	原	腹

(十) 同じ読み漢字 (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	イ	ウ	ア	ウ	イ	ウ	イ	ア	エ

(九) 熟語の構成(記号) (20) 2×10

5	4	3	2	1
オ	エ	ク	コ	ケ
ウ	イ	カ	ア	キ

(八) 熟語作り(記号) (10) 2×5

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
敵	土俵	浴	参拝	地域	預	鉄棒	演奏	従	灰色	胸	価値	蚕	遺産	裁	忘	専門	将来	株	夕暮

(十一) 漢字 (40) 2×20

6級 (R)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ほとけ	まよ	よろこ	せいたい	わたぐも	おう	げんいん	あま	はんが	と	さかい	ま	せいかく	どくしょう	ぎんが	ふっきゅう	いきお	みき	じゅぎょう	も

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
シ	キ	心	ケ	禾	才	冫	イ	口	力

(二) 漢字と送りかな(ひらがな) (10) 2×5

5	4	3	2	1
構える	許す	慣らす	過ぐる	厚い

(三) 部首名と部首 (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	エ	エ	ウ	ア	イ	ウ	エ	ア	ウ

(五) じゅく語の構成(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
12	4	10	2	5	1	8	2	5	3

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
経	師	序	衛	賛	容	仮	精	益	逆

(七) 対義語類義語(一字) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
件	再	術	招	格	則	可	眼	輸	断

(六) 二字のじゅく語(一字) (20) 2×10

9	8	7	6	5	4	3	2	1
接	設	節	織	折	限	減	績	責

(十) 同じ読み漢字 (18) 2×9

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
エ	イ	ウ	ア	ウ	ア	エ	イ	ウ	ア

(九) 音と訓(記号) (20) 2×10

6	5	4	3	2	1
カ	ク	ア	シ	ケ	イ

(八) じゅく語作り(記号) (12) 2×6

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
毒	防災	比	移	困	禁止	編	適	絶	額	伝統	飼育	易	準備	品質	築	祖父	支	夢中	張

(十一) 漢字 (40) 2×20

7級 (R)

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
む	は	り	あ	た	ま	とく	つ		か	さ	か	わ	ゆ	は	い	が	え	し	
り	た	よう	さ	たか	つ	くしゅう	と	な	かじつ	さんぽ	がみ	ら	うき	んせい	ちおく	つき	いご	ず	む

(一) 読み (20) 1×20

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
イ	ア	ウ	ア	ア	イ	ウ	ウ	ア	イ

(三) 漢字えらび(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
か	け	お	ほう	あ	か	ひ			めん
	っ		たい	ら	い	つ			せき
	せ			た	よう				

(二) 読み (10) 1×10

5	4	3	2	1
失	副	冷	初	陸

(六) 対義語(一字) (10) 2×5

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
ア	イ	ア	イ	ア	ア	イ	ア	イ	イ

(五) 音読み・訓読み(記号) (20) 2×10

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
総画数					何画目				
9	14	7	10	15	5	8	4	3	12

(四) 画数(算用数字) (10) 1×10

ウ			イ			ア			
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
伝	低	信	位	別	列	刷	栄	末	束

(八) 同じ部首の漢字 (20) 2×10

7	6	5	4	3	2	1
治	覚	建	固	折	飛	試
る	ます	てる	く	れる	ばす	みる

(七) 漢字と送りかな(ひらがな) (14) 2×7

五		四		三		二		一	
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
才	イ	工	ア	ウ	ア	工	才	イ	ウ

(十) 同じく語作り(記号) (20) 2×10

8	7	6	5	4	3	2	1
料	量	康	候	倉	争	産	参

(九) 同じ読み漢字 (16) 2×8

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
好	臣	的	種	置	便	沖	塩	節	衣	焼	愛	残	仲	念	借	選	働	管	昨

(十一) 漢字 (40) 2×20

(一) つぎの線の漢字の読みがなを  
線の右に書きなさい。

30  
1X30

- 1 庭の木に雪がつすらとつもる。
- 2 体育館で書きぞめ大会を行った。
- 3 命の大切さについて話し合う。
- 4 サイクリングで地図が役立た。
- 5 有名な店の前に行列がたてる。
- 6 きつねが主人公の物語をよんだ。
- 7 野も山も深いきりになりました。
- 8 もうすぐ梅の花がさく時期だ。
- 9 ばく場で子羊がうまれた。
- 10 九州行きの特急列車にありかえり乗船する。
- 11 しずかな海に島がうかんでいる。
- 12 駅を出た電車がまちを速く走る。
- 13 明日のサッカーの試合にかちたい。
- 14 港の近くの市場で魚をかった。
- 15 来週の手定めを手帳に書きこむ。
- 16 気分が悪いのでいはけん室で休む。
- 17 お年玉を去年よりおもらった。
- 18 台所で夕食のたくをてつた。
- 19 日曜日に家族でいい画を見に行く。
- 20 ランドセルを六年間お大事に使う。

漢字の読みがなを○の中に数字を書きなさい。

談	病	待	薬	決
○5	○8	○3	○11	○5
息	向	送	短	投
○10	○6	○9	○12	○7

(三) (一)の中に漢字を書いて、上はほんたいの読みがなを、下の右に書きなさい。

- きけん — 安(全)
- 始まる — (終)わる
- せめる — (守)る
- 寒い — (暑)い
- 自分 — (他)人

(四) おなじなかまの漢字を○の中に書きなさい。

漢字の読みがなを○の中に数字を書きなさい。

煙	仕	事	代	金
○1	○2	○3	○4	○5
遊	箱	筆	口	笛
○6	○7	○8	○9	○10
勉	強	助	け	る
○11	○12	○13	○14	○15
自	転	車	軽	い
○16	○17	○18	○19	○20

うらへつづく

○この答えを見て、書けなかったところはどこか、まちがったところはどこか、しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、そのままにしないで、すぐに練習をして正しくおぼえましょう。

(不許複製)

(五) つぎの(一)の中に漢字を書きなさい。

20  
2X10

- カメラを近づけて花の(写)真をとる。
- 兄は歯医(者)になりたいそうだ。
- 西の山に太(陽)がしずんでいく。
- (洋)服をクリーニングに出す。
- 係(員)の案内で工場を見学する。
- 病(院)でけがの手当てをしてもらう。
- 教科書の文(章)をすらすら音読する。
- 駅の南に大きな(商)店がある。
- 青森(県)はりんご作りがさかんだ。
- 日本で見られる野鳥の(研)究をする。
- (六) つぎの線のカタカナを○の中の漢字を○の中に数字を書きなさい。
- 大きい (大) オオキイ花がさく。
- 1 整 かがみの前にかみ毛をトノエル。
- 2 進 船が島に向かってススム。
- 3 温 アタタカイそばを食べる。
- 4 急 雨がふりそうなので帰り道をインソグ。
- 5 曲 父がうてをマゲルとカゴぶがてできる。

(七) つぎの線の漢字の読みがなを  
線の右に書きなさい。

10  
1X10

- 車に注意して道路をわたる。
- コップに牛にゅうを注ぐ。
- 自分で決めたことを実行する。
- 赤い木の実を鳥がつかむ。
- 黒板に書かれた計算問題をどく。
- 友だちの問いかけに答える。
- 風の向きが朝と反対になった。
- 体を後ろにゆっくり反らした。
- 石油ストーブで室内をあたためる。
- フライパンに油を入れて肉をやく。
- (八) つぎの○の中に漢字を書きなさい。
- 1 数人のグループに分かれて
- 2 てんびんは
- 3 くらべたりする道
- 4 具
- 1 調
- 2 習
- 3 重
- 4 味
- 5 消
- 6 皿
- 7 暗
- 8 味
- 9 昔
- 10 まつの木の
- 11 葉
- 12 住
- 13 酒
- 14 味
- 15 消
- 16 皿
- 17 暗
- 18 味
- 19 昔
- 20 葉

- 3 冬休みに読んだ本の感想を
- みんなの前で発表した。
- 4 朝早く起きて二階のまどを開けると、つめたい風が入ってきた。
- 5 豆電球 にかん電池をつないで
- 6 白い皿にケーキをのせて
- 7 暗い空にいなすが走って
- 8 料理の味をよくするために
- 9 母はお酒を使う。
- 10 まつ木の葉は、冬でも
- 11 昔の人が住んでいた
- 12 味をよくなるために
- 13 消えた。
- 14 皿にケーキをのせて
- 15 暗い空にいなすが走って
- 16 料理の味をよくするために
- 17 母はお酒を使う。
- 18 まつ木の葉は、冬でも
- 19 昔の人が住んでいた
- 20 味をよくなるために

おわり



(一) つぎの文をよんで、——せんの漢字の(22)1×22  
よみがなを——せんの中にききなさい。

1 寺のにわの池で、かもの  
親子がおよんでいた。

2 みななどを出る大きな船が  
汽てきを鳴らした。

3 兄といっしょにグイズの  
答えを考える。

4 ふうとうのうらに自分の  
親切……しんせつ

5 体そうをした後で、顔や  
首のあせをタオルでふいた。

6 あみの上で、四角いもちを  
やいていると、少しずつ

7 丸くふくらんできた。

紙コップで作った糸電話を  
耳に当てて、あい手の声を

聞く。

(二) つぎの漢字のふたひらがなはなんぼんに  
かきまますか。○の中はもう字をかきなさい。

点 …… ⑥  
雪 …… ④  
門 …… ①  
冬 …… ③  
楽 …… ⑧  
社 …… ⑦  
春 …… ⑨  
記 …… ⑩  
線 …… ⑮  
後 …… ⑨

(三) □にひらがなを一字かいてつぎの  
ことはのよみをこたえなさい。

親切 …… しんせつ  
谷川 …… たにがわ  
魚市場 …… ういちは  
昼間 …… ひるま  
大雪 …… おおゆき

(四) ○のころは、はねるか、とめるか、  
正しいかかたて○の中にかきなさい。

同 …… じ形  
野 …… やさしい心  
外 …… 国  
山

(五) つぎの文をよんで、——せんの漢字の  
よみがなを——せんの中にききなさい。

雨で山のぼりが中止になった。  
しゃつくりがやつと止まった。

さむいので、毛ふをかけてねた。  
かみの毛をみじかく切る。

五十メートル走が一番だった。  
ダチヨウは走るのがはやい。

校長先生にろう下で出会った。

ものさして直線の長さをはかる。

すきな歌手がテレビに出ていた。

リズムに合わせて歌う。  
——うらへつづく——

(六) つぎの……せんのはらがなを漢字で  
かくと、どちらが正しいですか。正しい  
ほうのほんごうに○をつけなさい。

① 室内  
② 室内  
① 米年  
② 半年  
① 古回り  
② 右回り  
① 交じる  
② 文じる  
① 小麦  
② 小夏  
① 海水  
② 海水

(七) れいのようにおなじなまの漢字を  
□の中にかきなさい。

言 …… 日本語・合計  
茶 …… 茶わん・草花  
糸 …… 細い糸  
元 …… 元氣・日の光  
科 …… 理科室・秋風

(八) つぎの□の中に漢字をかきなさい。

姉 …… 妹  
北 …… 南  
馬 …… 牛  
足 …… 頭  
千 …… 万  
強まる …… 弱まる  
のむ …… 食べる  
くら …… 明るい  
少ない …… 多い  
せまい …… 広い

(九) つぎの文をよんで、□の中に漢字を  
かきなさい。

1 きこのう、友だちと公園の  
すべり台であそんだ。  
2 図工の時間に  
ねん土で犬を作った。  
3 今夜はよく晴れて空に  
星がかがやいている。

4 弟が戸だなの中から  
おかしをとりに出した。

5 お父さんに算数の  
しゅくだいをみてもらった。  
6 みやげものを売る店で  
絵はがきを買った。  
7 来週の曜日に、  
家の近くのじんじやで

8 山道を歩いてるとき  
岩のそばに黄色い  
花がさいているのを  
見つけた。  
——おわり——

○この答えを見て、書けなかったところは  
どこか、まちがったところはどこか、  
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、  
そのままにしないで、すぐに練習をして  
正しくおぼえましょう。

1 つぎのぶんをよんで、  
かん字のよみがなを——せん  
のよみにかきなさい。

1 村のじんじやに大きな

いちようの木がある。

2 森の中で目をとして

耳をすましてみる。

3 となりのいへの犬は

クロという名まえだ。

4 休みの日にあさ早く

おきて、スキーにいった。

5 ならったかん字を正しい

かきじゆんで、ノートに

五かいずつかいた。

字 4  
百 3  
花 5  
名 3  
火 2  
正 4

目 5  
先 6  
校 10  
男 7  
虫 6  
四 5

2 つぎのかん字のふだいところは  
なんばんにかきますか。○の  
なかにすう字をかきなさい。

草げんをはしっている。

7 二どうの子うまが

花のたねをまいた。

たがやして、はるにさく

6 先生とかだんの土を

3 つぎのぶんをよんで、  
かん字のよみがなを——せん  
のよみにかきなさい。

あさ九じのバスにのる。

いちごを九つさらにのせる。

えん足ですいぞくかんにい

足をそろえてとび上がる。

一年まえにひっこしてきた。

お年よりにせきをゆずる。

かまきりはこん虫のなかまだ。

にわでだんご虫をつかまえた。

——うらへつづく——

4 つぎのこたばのよみがなを  
ただしいほうのばんごうに○をつ  
けなさい。

1 王子 ①おうじ  
2 おうち

2 三日 ①みつか  
②みつか

3 左右 ①さゆう  
②さいう

4 下校 ①げこお  
②げこう

5 せん手 ①せんしゆ  
②せんしゅ

5 □にひらがなを一字かいて  
つぎのことばのよみをこたえな  
さい。

カこぶ…ちからこぶ

金いろ…きんいろ

二人…ふたり

日本…にっぽん

大小…だいしやう

6 つぎの□のなかにかん字を  
かきなさい。

1 男…女 ①おんな

2 森…林 ①はやし

3 文…文 ①ぶん

4 雨…雨 ①あめ

5 石…石 ①いし

7 つぎのぶんをよんで、  
かん字をよんで、□のなかに  
かん字をかきなさい。

1 せいかつかのじかん

竹とんぼやけん玉

2 夕がた、おかあさんと

となりの町へかいものに

出かけた。

3 ひがしの山の上に

4 赤と白のけ糸で

マフラーをあんで

もらった。

5 水よう日に学校で

音がかいかいがある。

6 こうえんの入り口に

じてん車が六だい

ならんでいる。

7 天気がよくて空に

くもが一つもない。

——おわり——

10級 R

○この答えを見て、書けなかったところは  
どこか、まちがったところはどこか、  
しっかりたしかめてください。

○書けなかった字や、まちがったところは、  
そのままにしないで、すぐに練習をして  
正しくおぼえましょう。

〔不許複製〕